

平成31年度 うららか保育園 施設評価

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	意見
保育目標	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	・アクティブラーニングや、子どもの主体となる保育目標が生かされているのか疑問に思う事があったりする。 ・アクティブラーニングを学んで生かしていきたいです。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	・園にあった目標でいいと思う。 ・理解し合っていると思う
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	・個の動きでなく、全体一斉の活動が多い。個を大事にしていく保育をしていきたい。 ・クラスでの目標は話し合ったりしています。
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	・4月からの開園なので前年度の反省等はまだないです。来年度はしっかり反省点をいかしながら目標も考えていきたいとおもいます。
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	・新規園で施設の特色を生かしながら保育に取り組んでいるが全職員で保育計画等、見直す時間がまだ足りていない。 ・月1の保育MTG、必要に応じてその都度MTGうい行っているが共通理解が図れるようにクラスや全体で話をしていく。
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	・遊びながら学べる玩具(「積み木」以外)が、もっとあれば、子どもの想像力が広がる可能性もあるかと思う。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	・指導計画は年間計画に添って作成をし個々に合った援助・支援をするように心がけている。
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	・素材や用具等を活用しているかについては、まだまだ活用できていないので工夫していきたいと思う。
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	・各クラスの玩具がもう少しあると良いと思う。 ・子ども達の遊ぶ玩具をもっと準備した方が良い
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	・指導計画を参加にしたり、クラスで話し合ったりして作成したりしている ・玩具が少ないので廃材利用や指先遊びの玩具を作ったり努力は行っているが、もう少し玩具はほしい。 ・指導計画もしっかりと話し合いながら月齢を考慮して計画しているところです。

		・素材、用具は出来るだけ手作り、エコを意識している所です。 ・子どもの年齢や発達に応じた玩具を作成し保育の幅を広げる。また、子ども達が自発的に取り組める環境作りを個々ではなく職員間で話しあっていく必要がある。
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	・年齢に応じて無理ないデイリープログラムだと思う。 ・いいと思う。 ・前・後期や1～4期とクラスに応じてその都度話し合い成長を止めず変えていく必要がある。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	・行事等の回数は適切だと思う。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	・保護者の意見に対しても誠意を持って取り組んでいると思う。 ・毎月の誕生会や行事等も係が集まり話したりしながら計画をたてて実施しているので良い。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	・実施回数もいいぐらいだと思う。 ・行事が多く感じられる。ねらいによっては、おまねき会は3、4歳児のみ（理解ができていない）と全園児参加でなくても良い等、全員で検討してもいいと思う。
	(4) 計画・実施・改善の体制をとっているか。	・0、1歳児には内容の難しいものもあるので全員参加という形でなくてもいいかなと思う。
	(5) 保護者の願いや意見を取りいれているか。	・盛りだくさんの行事で大変な時もありますが、終わると満足感もあります。 ・子どもの発達に合わせ、人数を分けたりして保育している。（月齢にあわせたり） ・保護者の意見は皆で話し合い良い保育を目指しています。 ・毎月、季節に合った行事を地域交流も含めて行っている。大きな行事が立て続けに組んでしまっていて計画が中々進まず話し合いの回数が少なかったので大きな行事は余裕をもって計画を立てられるように日程を調整する。

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	意見
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。 ・業務の割り振りにかたよりがある。平等に割り振りをし職員の不満を減らす。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。 ・みんなで協力しあっていて良いと思う。 ・PC業務も全員が出来るよう、分かりやすくマニュアル作成をする。
		(3) 職員の配置は適材・適所か。 ・年齢相応の職員配置を考えると多すぎたり少ないクラスがある。 ・乳幼児クラスにもっと職員を配置した方が良い ・手がたりない時には手伝いにきてくれたりする。 ・みんなで協力、助け合いがいい。 ・その都度職員配置を行っているが、偏りがある。
		(4) 係の仕事の分担・割り当ては適切か。 ・同じ職員ばかりが係をするのではなく、平等に役割分担をわりふった方が良いと思う。また担当職員に最後まで責任を持ってやってもらった方が良いと思う。 ・適切だと思います。 ・製作を分担できている。 ・かたよりがある。
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。 ・進めている。 ・会議後に話し合ったり共通理解を大切にしている。 ・月1の保育MTGでは議題を決めて行っているが時間がいつも足りないので回数を増やす必要がある。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。 ・「自分はしたくない」と平気で言う職員がいることが残念だった。行事担当にしても人任せの人が多い ・関わっていると思います。 ・わからない事はわかるまで納得いくまでしるよう心がけている。 ・お互い困った時には助け合いながら運営に努めているが、もう少し気持ちを言い合える環境を作っていきたい。

		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	・行事等の時に打ち合わせをしてほしい。 ・適切だと思います。 ・保育MTGの回数を増やしコミュニケーションを図る。
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	・設定している。 ・クラスでの話し合いは常にするようにしている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	・ずれたりすることもあるが、設定はしていると思う。 ・クラスでの話し合いは常にするようにしている。 ・成長を止めず家庭と連携を図りながら進めていく必要がある。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	・適切とは言えないが設定していると思う。 ・保育がマンネリ化しないように工夫が必要。
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実をはかっているか。	・0クラスは前期は別々も多いが後半からは交流も多く深めていきたい。 ・異年齢交流が増え、他者への思いやりが芽生えている。
		(5) 意義や主旨を理解したチーム保育を行っているか。	・お互いに理解し合っていると思う。 ・コミュニケーション不足と感ずるので全体的に会話をしチーム保育を心掛ける。
		(6) 評価・資料（諸記録）を集積しているか。	・している。 ・いつでも見られ確認出来る。 ・種類別に記録を残している。
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	・心肺蘇生法は外部指導を受けたり看護師と連携を図りながら努めている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	・毎月の訓練を適切に実施している。 ・警察官を定期的に呼び指導を受けている。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	・おたより帳、お手紙、口頭で伝えています。 ・おたより帳や送迎時に保護者とのやり取りを密に行うよう努めている。
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭や地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	・外部講師等による定期的な指導を受けている。
研 究 ・ 研 修	所 内 研 修 ・ 研 修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	・共通理解につながる ・各事業所定期的に勉強会を行い全体で共有している。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	・適切だと思う。 ・研修計画が見えないのでしらせてほしい。 ・共通理解につながる
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	・共通理解につながる ・11月に勉強会を行い、保育に生かしていきたい。

		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	
	所外 研究 研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加姿勢の充実を図っているか。	・研修会への参加をもっと多く取り入れた方が良いと思う。 ・協力し合い参加していると思う。 ・会社全体的に研修に対して充実している。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	・ミーティングなどで内容を伝えたりしているので良いと思う。 ・所外研修に保育士を参加できるようにした方が良い（特に虐待や衛生・保育に関わるもの） ・所外の保育の研修に行きたい。 ・全体会議や保育ミーティングで他職員と共有し保育で生かしている。
情報 について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	・取り扱っていると思う。 ・他の事業所との関わりのあるもので密に行っていく必要がある。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切におこなっているか。	・適切に行っていると思う。
		(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	・時間内で出来ないがその日のうちに処理するようにしている。
施設・ 設備		(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	・危険箇所だけでなく担当等を決めて取り組む必要がある。
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	・絵本等は修復しているが、おもちゃ等は壊れたままで使えない事がある。 ・遊具の種類を多くして欲しい。 ・保管場所がバラバラで見つからない時がある。保管場所を決め全体周知する。
		(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	・事務所が二階なので不審者対応がほぼできず、危ない（不審者は1階から入る） ・時間になったら施錠してもいいかなと思う。 ・門がなく誰でも出入りができてしまうので保育中の鍵の施錠を検討
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	・掲示板を玄関先に設け全体周知を行っている。
経 理 出 納 ・		(1) 各種会計を適切に処理しているか。	・会計は一人で行わず二人体制をとり、処理を行っている。

開かれた保育所づくり	施設交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	・ なっている。 ・ 事前MTGで再確認という形なので定期的に目標や課題を話す機会を設けたい。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	・ なっている。 ・ 事前MTGで再確認という形なので定期的に目標や課題を話す機会を設けたい。
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	・ 打ち合わせをしお互い理解しあっている。
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	・ いかしている。
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。	・ 参観はまだ行ってない。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	
		(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を解放しているか。	
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	登降園時を利用して質問があれば対応していくようにしている。
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	
	情報の発信	(1) 保健所だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	その日の感染症等の情報も知らせてはどうか。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	

	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	していると思う。